

NASUSHIOBARA

第2次 那須塩原市 総合計画 後期基本計画

〈PR版〉

令和5～
9年度

2023～2027年度



第2次那須塩原市総合計画 後期基本計画〈PR版〉

企画・編集・発行
那須塩原市企画部企画政策課

〒325-8501
栃木県那須塩原市共墾社108番地2
TEL:0287-62-7106
FAX:0287-62-7220
E-mail:kikakuseisaku@city.nasushiobara.tochigi.jp

那須塩原市



CONTENTS

1. 第2次那須塩原市総合計画
 総合計画とは 01
 第2次那須塩原市総合計画 01
 那須塩原市ってどんなところ? 02

2. 基本構想
 まちづくりの基本理念 03
 将来像 03
 人口ビジョン(改定) 04
 土地利用構想 04
 県北の中心都市として 04

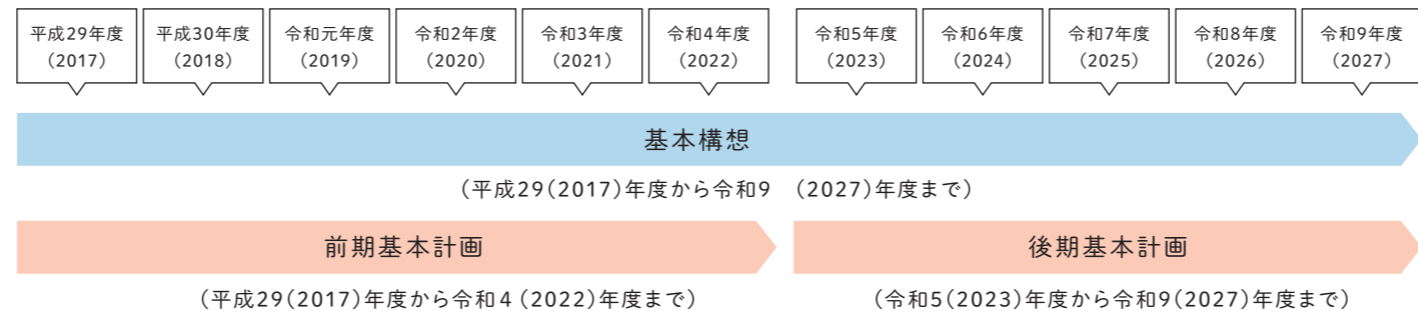
3. 後期基本計画
 SDGsの推進 05
 施策体系 06
 4つの重点推進テーマ 07
 8つの基本政策 09

総合計画とは

総合計画とは、将来のまちづくりの基本理念や目指すべき将来像と、その将来像を実現するために必要な施策などをまとめたもので、「まちづくりの最も基本となる計画」とも言えます。

第2次那須塩原市総合計画

「第2次那須塩原市総合計画」は、平成29(2017)年度から令和9(2027)年度までを計画期間として、本市の目指すべき将来像を示した「基本構想」と、目指すべき将来像を実現するために必要な施策などをまとめた「基本計画」で構成しています。



那須塩原市ってどんなところ?

那須塩原市が住みやすいと感じる理由

(市民アンケート調査結果より)

第1位 自然が豊か

山岳部は日光国立公園を形成し、初夏の新緑、秋季の紅葉など四季折々の多彩な表情を持っています。

第2位 暮らしやすい気候

本市は高原性の冷涼な気候であると言われ、令和3(2021)年の年間平均気温は12.1℃となっています。

第3位 長い移動を伴わずに生活できる

駅周辺や幹線道路周辺の市街地に立地する食料品店、飲食店などに加え、ショッピングモールやアウトレットモールなどの大型商業施設も所在しています。

第4位 東京に行きやすい

新幹線を利用すれば那須塩原駅から東京駅まで約70分でアクセス可能です。

第5位 防災の面で安心

水害や地震など自然災害における被害が比較的少ないと言われています。

那須塩原市を象徴するもの《場所》

(市民アンケート調査結果より)

第1位 温泉

1,200年以上の歴史がある塩原温泉郷と「下野の薬湯」と言われる板室温泉などがあります。

第2位 駅

新幹線停車駅である那須塩原駅に加え、西那須野駅、黒磯駅の3駅があり、駅を中心として市街地が形成されています。

第3位 山、岳、連山、連峰

西部に高原山、北部に大佐飛山や那須連山の最高峰三本槍岳などが連なります。

第4位 公園

那珂川河畔公園や那須野が原公園などの大規模公園が充実しています。

第5位 牧場

「生乳産出額全国2位のまち」として酪農が盛んであり、牧場や牧草場が広がっています。





基本構想は、本市のまちづくりの基本理念や将来像などを定めた総合的な指針です。

まちづくりの基本理念

■ 自然を守り、共生するまちづくり

わたしたちのまちには、雄大な山々、清らかな河川、風光明媚な溪谷などの美しく豊かな自然があります。わたしたちの財産であるこの自然を後世に引き継ぐため、自然を守り、共生するまちづくりを進めていきます。

■ 歴史に学び、開拓精神が息づくまちづくり

那須野が原の不毛な原野を開拓することは、大変な苦勞が伴いました。先人たちは、過酷な自然環境と闘いながら、農地の開発や那須疏水の開削を行い、今日の那須野が原を作り上げました。こうした忍耐強さや新たなものごとに取り組む不屈の開拓精神を受け継ぎ、まちづくりを進めていきます。

■ 人を中心に、共に支え合うまちづくり

この地に暮らしてきた人々が、共に手を取り支え合ってまちをつくってきたように、市民を中心に、共に支え合い安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

将来像

【人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原】

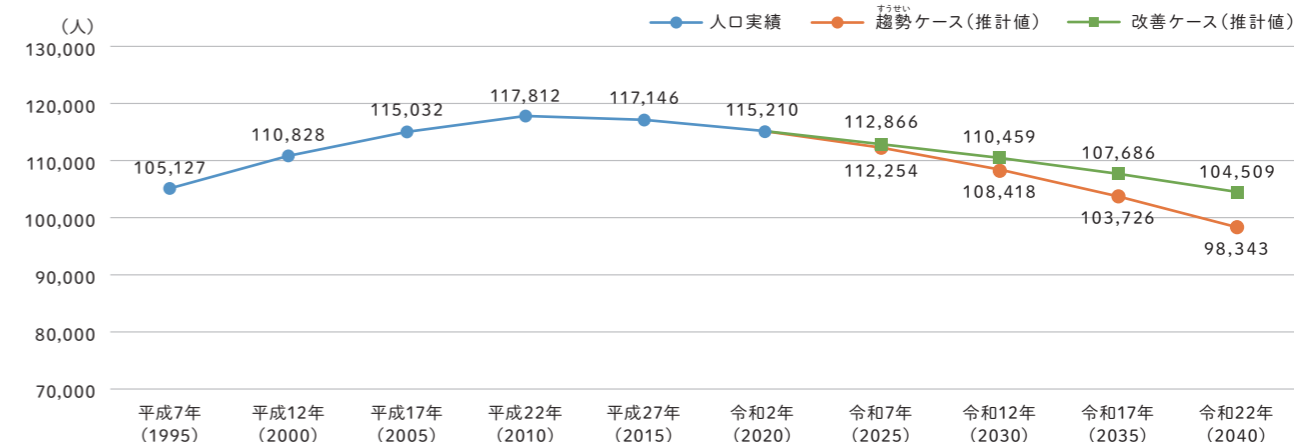
人口ビジョン(改定)

本市の令和2(2020)年の人口は11万5千人であり、将来推計では令和22(2040)年に9万8千人まで減少する見込みとなっています。

第2次総合計画に掲げる取組を推進し、将来の合

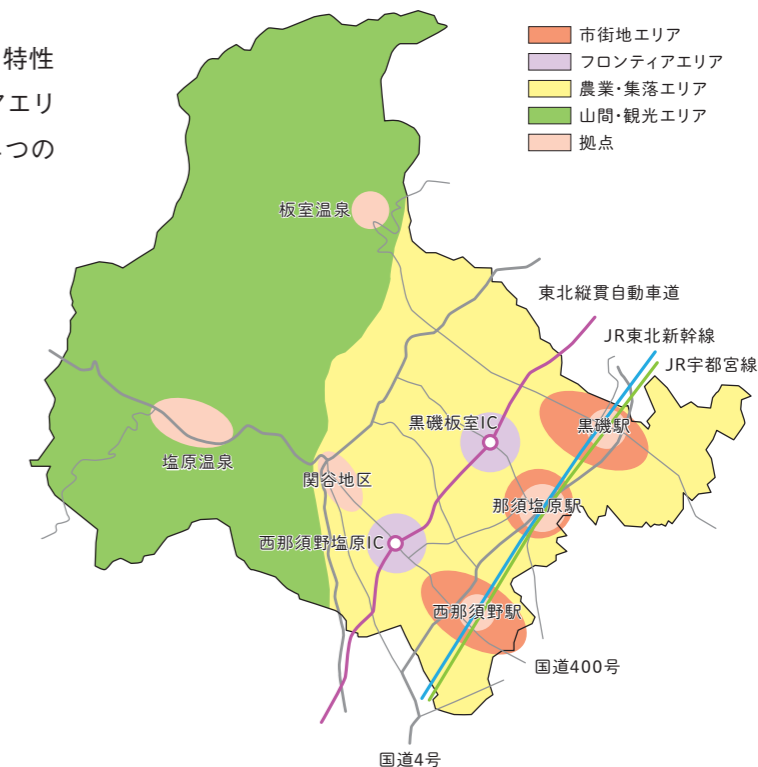
計特殊出生率や若者を中心とした社会増減の状況の改善を図ることで、令和12(2030)年に11万人、令和22(2040)年に10万人を目指します。

● 那須塩原市の人口の推移と推計人口



土地利用構想

土地利用の現況や地理的条件、産業構造などの特性から、市全体を「市街地エリア」、「フロンティアエリア」、「農業・集落エリア」、「山間・観光エリア」の4つのエリアに分け、効率的な土地利用を推進します。



県北の中心都市として

那須地域は、豊かな森林資源や里山、風光明媚な観光地など共通の地域資源があり、多くの可能性を秘めた地域であるとともに、地域固有の歴史・文化を有した生活・経済圏域を形成しており、この地域において本市は最大の面積、人口を有し、鉄道や高速道

路のアクセスも良好であるため、県北の玄関口としての機能を有しています。

人口減少が進む今後において自立した地域を目指すため、近隣市町との連携をさらに深めるとともに、県北の中心都市にふさわしいまちづくりを進めていきます。



後期基本計画は、本市の目指す将来像「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」の実現に向けて、今後5年間に必要な施策などを体系的にまとめたものです。

SDGsの推進

SDGs(持続可能な開発目標)は、平成27(2015)年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された令和12(2030)年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

SDGsの目指す17のゴールは、本市が総合計画で目指す姿に沿ったものであるため、一体的に推進していきます。



那須塩原市におけるSDGsの取組 ～「持続可能なまち那須塩原市」を目指して～

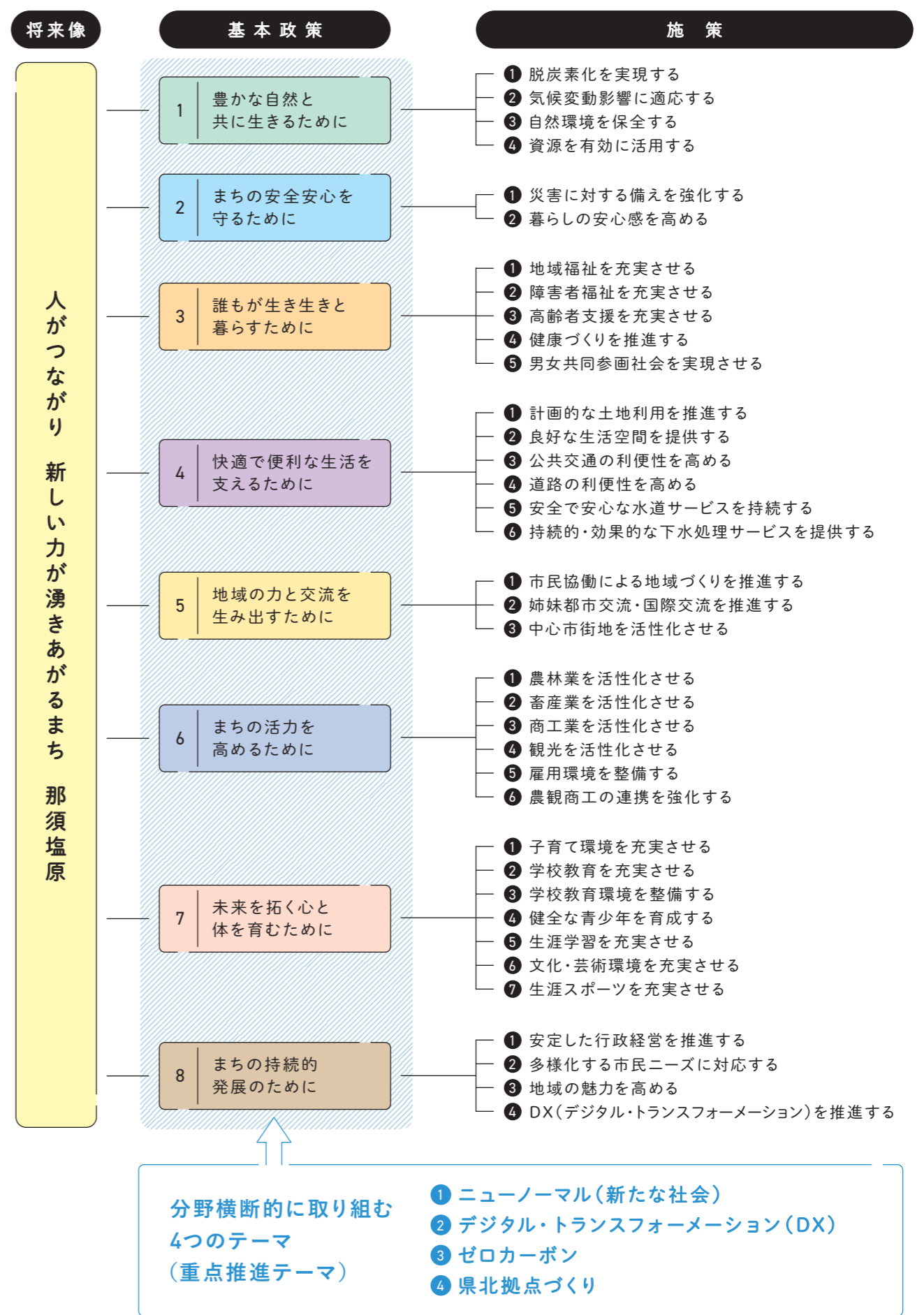
気候変動への対策

二酸化炭素などの温室効果ガスを減らす「緩和策」と気候変動の影響に対策を講じる「適応策」を一体的に進めています。

持続可能な観光の推進

持続的かつ競争力のある観光地域づくりを目指す取組が評価され「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選出されました。

施策体系





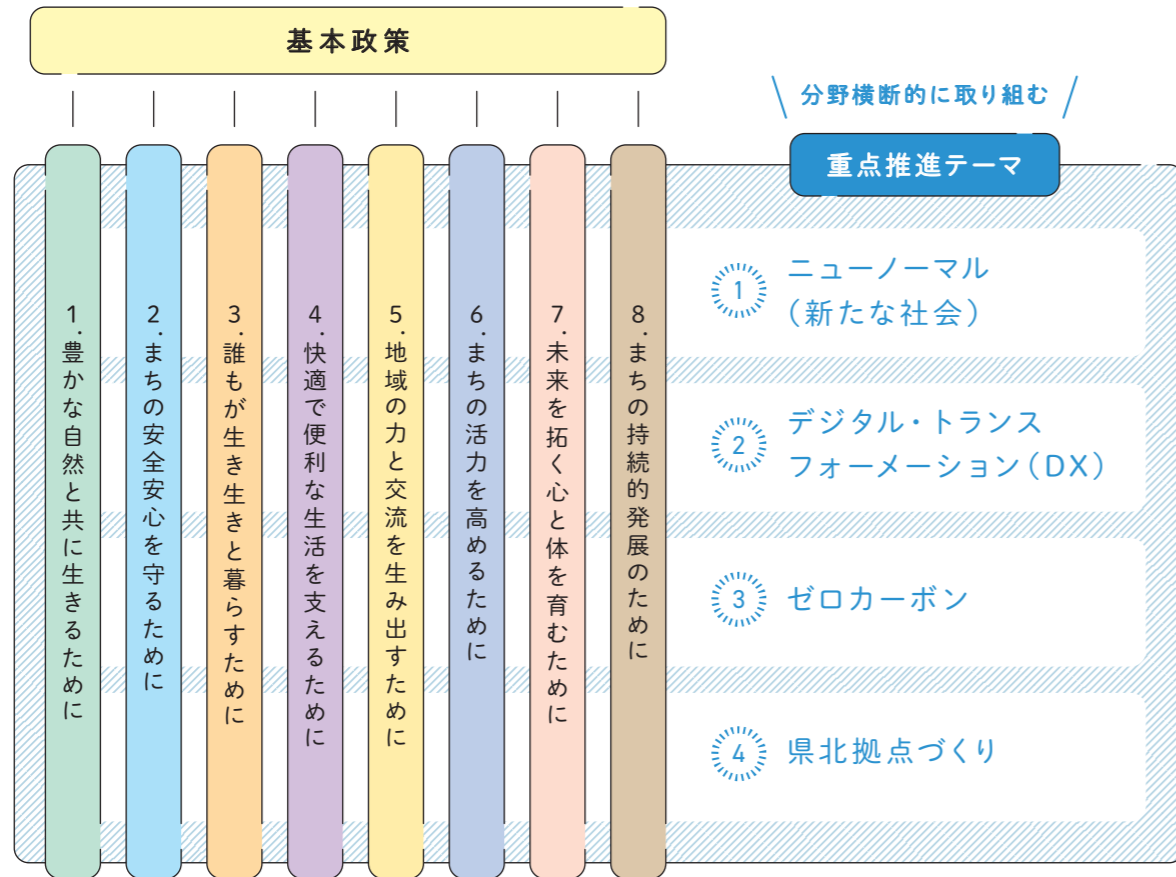
4つの重点推進テーマ
～分野横断的なテーマ～

今後5年間のまちづくりの核となる方向性を示すものとして、重点的に推進する分野横断的な「4つの重点推進テーマ」を掲げ、各施策等に取り組みます。



将来像

人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原



1 ニューノーマル(新たな社会)
～時代の変化に柔軟に適應した安全安心なまち～

時代の変化に適應した柔軟な地域社会・行政運営体制の構築に寄与する取組を推進



主な取組の想定

- 気候変動への理解促進、気候変動影響の適應策の推進
- 災害対応力の強化、地域防災力の強化
- 世代・分野を問わない包括的相談支援体制の充実
- デジタル技術の活用などによる分散型の地域づくり 等

2 デジタル・トランスフォーメーション(DX)
～未来技術を活用した利便性の高いまち～

進展めざましいデジタル技術による地域課題の解決や利便性の高い社会を形成するための取組を推進



主な取組の想定

- 行政窓口のオンライン化、窓口手続のデジタル化による市民サービスの利便性の向上
- 防災・医療・福祉・子ども・環境・交通など地域社会におけるDXの促進
- スマート農業の推進
- 学びへのICTの活用 等

3 ゼロカーボン
～豊かな自然と共生し資源や経済が地域内循環する持続可能なまち～

資源や経済が地域内循環する脱炭素社会を構築し、持続可能なまちの実現に向けた取組を推進



主な取組の想定

- ゼロカーボン街区の構築、地域再生可能エネルギーの地域での活用促進
- 電気自動車等の導入支援、建築物のZEB・ZEHの普及促進
- 再生品の利用推進、プラスチック類ごみの資源化促進
- 教育施設におけるLED照明、太陽光発電設備の整備 等

4 県北拠点づくり
～那須塩原駅周辺を中心とした人々から選ばれる魅力あふれるまち～

市外から様々な資源を誘引するための、拠点・基盤の整備や情報発信に関する取組を推進



主な取組の想定

- 那須塩原駅周辺のまちづくり、新庁舎整備の推進
- 那須塩原ブランド認定品を中心とした地域特産品の普及・拡大
- 大規模スポーツイベントの誘致・支援の推進
- 市の魅力発信などのシティプロモーションの推進、移住・定住の促進 等

8つの基本政策

将来像の実現に向けて、「8つの基本政策」に基づき各分野における取組を進めていきます。

1. 豊かな自然と共に生きるために

- ☑ 豊かな自然環境を次代に引き継ぐため、環境保全を推進します。
- ☑ 脱炭素社会の実現のため、再生可能エネルギーの利用やごみの資源化を推進します。

キーワード

「脱炭素化」「気候変動適応」



2. まちの安全安心を守るために

- ☑ 災害の発生に備えた強靱な地域づくりのため、「自助・共助・公助」の連携による地域防災力の向上を推進します。
- ☑ 日常生活における様々な不安を解消し、暮らしの安心感を高めるため、地域や関係機関との連携を強化します。

キーワード

「災害対応力の強化」「地域防災力の強化」



3. 誰もが生き生きと暮らすために

- ☑ 誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりのため、お互いの存在を認め合い、尊重し、思いやることができる社会を構築します。
- ☑ 健康寿命の延伸のため、若い世代から高齢者まで切れ目のない健康づくりを推進します。

キーワード

「地域共生社会」「地域包括ケアシステム」



4. 快適で便利な生活を支えるために

- ☑ 持続可能なまちづくりのため、集約型都市構造への転換を図ります。
- ☑ 市民の生活を支える道路やライフラインなどの基盤を計画的・効率的に整備・維持します。
- ☑ 公共交通の利便性向上のため、地域の実情に即した公共交通体系の構築を推進します。
- ☑ 市民の心と体の安らぎのため、地域特性を活かした憩いの空間を提供します。

キーワード

「空き家等対策」「公共交通ネットワーク」「道路ネットワークの構築」



5. 地域の力と交流を生み出すために

- ☑ 人と人との支え合いによる地域力を高めるため、市民との協働によるまちづくりと交流を推進します。
- ☑ 賑わいのあるまちづくりの創出を推進するため、駅周辺の整備を進め、活性化を図ります。

キーワード

「市民協働による地域づくり」「多文化共生」「駅周辺地区活性化」



6. まちの活力を高めるために

- ☑ 活力・魅力にあふれた産業づくりのため、意欲ある事業者への支援と地域資源の活用を推進します。
- ☑ 創業支援や企業誘致等により、稼げる場づくりや雇用の確保に努め、産業の活性化を推進します。

キーワード

「担い手支援」「持続可能な観光」「企業誘致」「那須塩原ブランド」



7. 未来を拓く心と体を育むために

- ☑ 次代を担う子どもたちの健やかな成長のため、子育て環境の充実、学校教育の質の向上と教育環境の整備を推進します。
- ☑ 生涯学習・生涯スポーツ社会の実現のため、市民が生涯にわたり、主体的・創造的に学習やスポーツを続けることができる環境づくりを推進します。

キーワード

「子育て環境の充実」「学校教育の充実」
「地域と学校の連携・協働」「学び続けることのできる環境づくり」



8. まちの持続的発展のために

- ☑ 安定した行政サービス提供のため、計画的な行政経営と持続可能な財政基盤の構築を推進するとともに、市民に親しまれる市政運営を推進します。
- ☑ 市民のまちへの興味・愛着を高めるため、まちの持つ魅力の共有化や情報発信を推進します。

キーワード

「行財政改革」「新庁舎整備」「分散型地域づくり」
「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」

